

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372201547
事業所名	グループホーム瀬部

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2) 町内会に加入し地域の行事に積極的に参加している。散歩時の挨拶や盆踊り・神社の清掃などで地域の方々と交流している。小学校の運動会や学習発表会の見学に出かけたり、お月見どろぼうで利用者が玄関に座りお菓子を手渡しするなど、子どもとの触れ合いを楽しんでいる。事業所主催のバザーではチラシを配ったり、ポスターを貼って呼びかけ、地域の人の来訪が多かった。また、近所の人から野菜や果物の差し入れもある。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3) 利用者代表・家族代表・町内会長・民生委員・小学校校長・地域包括支援センター職員の参加を得て、2ヶ月に1回開催している。会議では行事報告や施設紹介・認知症施策・外部評価の報告・質疑応答などを行い、メンバーから情報や助言を得て運営に反映している。民生委員から先生を紹介してもらい、教室で制作したバラのプローチを身に付けている利用者がいる。議事録は玄関に掲示し、家族にも配布している。	評価	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4) 施設長は運営推進会議の議事録を届けたりいろいろな報告で出向き、ケアマネジャーは介護区分の変更や申請で役所に行っている。また、分からない事や相談がある時は電話で聞くようにしている。毎年恒例になっている一宮七夕祭りに出品する飾りを、利用者で製作し出展している。また、市主催の接遇や救命救急の講習会にも参加している。市の広報誌からお年寄りの疑似体験の勉強会を申し込み、来年1月に実施する予定である。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6) 利用者の意見や要望は日々の関わりの中で聞いている。家族からは支払いの訪問時や面会などで聞いている。また、家族会はないが開設記念日と敬老会の年2回、家族が交流する行事を行っている。出された要望は生活記録表と申し送りノートに記入し、職員間で情報を共有している。毎月ホーム便りと1ヶ月の様子を書いた報告書を説明しながら手渡し、また、年3回法人の広報誌「いわと」も配布している。家族から「よく聞いてくれ、よく対応してくれる」と高い評価を得ている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。		○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。		○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価			○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				